



鳥取県小学校体育研究会のあゆみ

令和5年5月

中・四国小学校体育連盟の結成

昭和31（1956）年1月 四国小学校体育連盟（香川・徳島・高知・愛媛）の結成

- 小学校体育振興上の諸問題について情報を交換し討議し合う
- 小学校体育の学習を一層充実させるために、児童が手に取って見ることができる学習手引書の作成に見解が一致
- 同年末に初版本を発行（「わたしたちの体育」の起こり）
- 研究大会を4県持ち回りで毎年実施
- 各県の授業実践や研究の交流を通して指導力の向上を目指した



中・四国小学校体育連盟の結成

昭和 3 3 年岡山県加盟

→ 四国・岡山小学校体育連盟と改称

昭和 3 7 年島根県加盟

→ 中・四国小学校体育連盟と改称

昭和 4 1 年広島県加盟

昭和 4 7 年山口県・鳥取県加盟

→ 名実ともに、中・四国ブロックの広域組織として確立

→ 初版以来、「わたしたちの体育」は、中・四国 9 県の実践を基に、体育科の学習指導上の諸問題を解決しつつ、現場の手によって作成されてきている。

鳥取県小学校体育研究会の歴史

戦後しばらくは、体育研究団体の組織的な活動は見られなかったが、昭和23年頃より、各郡市で体育ワークショップの組織ができ、研究発表大会も開催されるようになった。

昭和29年 鳥取県小学校体育指導者連盟結成

昭和37年 鳥取県学校体育研究連合会結成

→ 連絡機関として運営

昭和38年 **鳥取県小学校体育研究会に改称**

昭和39年 鳥取県小学校教育研究会設立

→ 体育部会を兼ねる

鳥取県小学校体育研究会の歴史

○鳥取県小学校体育研究大会

※全県的な立場で研究の場を設け，共同研修を行うことにより充実した研究会にしたい

→ 昭和41年 第1回大会（成徳・河北）をはじめに大会開催

○夏季一泊研修会

※全国的な視野に立って秀れた講師を招聘し指導を受け，その人格に直接触れること

※県下の経験の少ない者，経験を積んだ者が一堂に会して，広く高い立場で今後の

鳥取県体育の在り方を求めて研修機会とする

※寝食を共にすることによって親睦と連帯感を養う

→ 昭和63年より開催

→ 体育実技講習会（昭和30～53年） 夏季一泊講習会（昭和54～61年）

鳥取県小学校教育研究会の歴史

○「あゆみ」発行

※本研究会の事業や授業研究会の内容，「わたしたちの体育」を活用した実践等，研究収録的な内容

→ 昭和30年第1号作成，昭和31年度初めに配布

○浅川賞

※本研究会の運営や事業に功績があった者及び体育指導に永年尽力してきた者，学校への表彰

→ 昭和50年度より。学校賞は，平成6年度から

中・四国小学校体育連盟とのつながり①

○中・四国小学校体育研究大会の開催・参加

- 昭和51年度に第14回中・四国小学校体育研究大会を鳥取市で開催
- 以後、他県で開催される大会への参加は加盟県としての重要な役割である

これまでの開催校

第14回大会（昭和51年 7月 2日）

鳥取市立醇風小学校

鳥取大学附属小・中学校

第25回大会（昭和62年10月16日）

鳥取市立美保小学校

鳥取市立明德小学校

第34回大会（平成 8年10月18日）

鳥取市立湖山西小学校

鳥取市立賀露小学校

第43回大会（平成17年10月28日）

鳥取市立若葉台小学校

第52回大会（平成26年10月24日）

米子市立福生西小学校

第61回大会（令和 5年11月 2日）

米子市立就将小学校

中・四国小学校体育連盟とのつながり②

○役員派遣

- 当初は，会長と理事長，理事２名が務めた
- 「わたしたちの体育」の編集への関わり…昭和６０年から
- 軌道に乗るまで（平成４年まで）は，理事２名で対応

中・四国小学校体育連盟とのつながり③

○準教科書の採用

→ 加盟以来，永年にわたって論議・研究されながら見送られてきていた

→ 昭和61年度より採用

※中・四国地域の実態に合わせて，中・四国小体連各県の担当者が
集まり編集されていること

中・四国小学校体育研究発表大会鳥取大会に向けて弾みを付ける決断